

組織体制

所長

大窪 健之	理工学部 都市システム工学科	教授	文化遺産防災学
-------	----------------	----	---------

副所長

鈴木 祥之	衣笠総合研究機構	教授	耐震工学
中谷 友樹	文学部 地域研究学域	教授	地理情報科学

研究メンバー

青柳 憲昌	理工学部 建築都市デザイン学科	講師	建築史
泉 知論	理工学部 電気電子工学科	教授	情報システム学
板谷 直子	衣笠総合研究機構	准教授	文化遺産防災学・都市計画学
伊津野 和行	理工学部 都市システム工学科	教授	耐震工学
小川 圭一	理工学部 都市システム工学科	准教授	交通工学・交通計画
片平 博文	文学部 地域研究学域	特任教授	歴史地理学
鐘ヶ江 秀彦	政策科学部 政策科学科	教授	計画理論
川合 誠	情報理工学部 情報コミュニケーション学科	特任教授	情報通信
川崎 佑磨	理工学部 都市システム工学科	准教授	RC構造
河角 直美	文学部 地域研究学域	准教授	歴史地理学
金 度源	衣笠総合研究機構	准教授	文化遺産防災学
里深 好文	理工学部 都市システム工学科	教授	河川災害
高橋 学	文学部 地域研究学域	教授	環境考古学
武田 史朗	理工学部 建築都市デザイン学科	准教授	ランドスケープデザイン
塚口 博司	理工学部 都市システム工学	特任教授	交通計画
土岐 憲三	衣笠総合研究機構	教授	文化遺産防災学・地震工学
豊田 祐輔	政策科学部 政策科学科	准教授	防災まちづくり
花岡 和聖	文学部 地域研究学域	准教授	地理情報科学
林 倫子	理工学部 都市システム工学科	助教	景観工学
平尾 和洋	理工学部 建築都市デザイン学科	教授	建築意匠
深川 良一	理工学部 都市システム工学科	教授	地盤工学
福水 洋平	理工学部 電気電子工学科	准教授	信号処理工学
藤本 将光	理工学部 都市システム工学科	助教	砂防工学
松永 光平	文学部 地域研究学域	准教授	環境地理学
宗本 晋作	理工学部 建築都市デザイン学科	准教授	建築計画
矢野 桂司	文学部 地域研究学域	教授	地理情報科学
山内 寛紀	理工学部 電気電子工学科	特任教授	自動画像認識
山崎 有恒	文学部 地域研究学域	教授	河川改良史
吉越 昭久	文学部 地域研究学域	特任教授	歴史地理学
吉富 信太	理工学部 建築都市デザイン学科	教授	建築構造学
冷泉 為人	衣笠総合研究機構	教授	日本美術史

ロヒト・ジグヤス	衣笠総合研究機構	教授	文化遺産防災学
<u>若手研究者</u>			
崔 明姫	衣笠総合研究機構	専門研究員	
谷端 郷	衣笠総合研究機構	専門研究員	
石田 優子	総合科学技術研究機構	専門研究員	

活動概要

歴史都市防災研究所は文化遺産の宝庫とも言うべき京都において、芸術と文化の保全とそれを支えるコミュニティを含めた災害対策とを一体の物として捉える「文化遺産防災学」の教育・研究拠点を目指し、以下の3つの研究部会において、災害科学、土木工学、建築学、情報学、政策科学、歴史地理学など、文理を連携させた研究活動を推進している。

歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会

歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、京都をはじめとする歴史都市を対象にした、時空間的なデータ基盤を構築し、歴史文化都市ならびに文化遺産の災害リスクや空間の質に関する地理空間分析とこれをふまえた評価ツールの開発を試みる。

歴史文化都市の防災技術研究部会

「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確認すること目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、他の研究部会とも連携して、歴史文化都市・地域のハザード情報と歴史文化都市空間の歴史的・意匠的・防災技術的価値評価を整理する。

歴史文化都市の防災デザイン研究部会

他の研究部会の成果を実際に生きた歴史文化都市に実装するために必要な、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための防災デザイン・コミュニティデザインの視点に立脚した計画と政策の研究を推進する。

上記に加えて、10年以上継続している京都をフィールドとした文化遺産の防災に関わる国際的な研修事業「ユネスコチェア国際研修」を中心に、世界各国での文化遺産の防災に関わる研修事業の支援や、GIS技術を援用した文化遺産防災情報の国際的共有手法の開発、歴史都市および文化遺産の災害とその対策に関する情報アーカイブの構築などを学内外の関連機関と共同で行うことで、国際展開・社会連携を推進している。

また、過年度に引き続き文部科学省私立大学等経常費補助金（研究施設運営支援）により、上記の研究部会における研究活動に加え、より発展的な研究プロジェクトを推進した。

それらの研究成果については、本報告書に第4章に掲載する。